

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！

# あの手



# この手

3月号  
2019



あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

第140号 2019年3月10日 大和市民活動センター[拠点やまと]発行

ペテルギウス玄関の  
2月20日の生け花



<やまと国際アートフェスタ> 作品シリーズその12

今年のテーマは「世界に伝えたい！わたしのブーム」

タイトル：「ようこそ おかしのくにへ」

福田小学校3年

上ヶ島ピアンカ（かみがしま びあんか）さん

コメント：『うちがおかしの家だったらいいな』

と、思って気持ちをこめてかきました。



### 2019年度の協働事業等の提案募集が始まります

募集要領は  
市民活動  
センターに  
あります。

企画書提出期間：4/1(月)～4/19(金)

協議期間：4/15(月)～5/7(火)

申請期間：5/8(水)～5/15(水)

事業担当課との顔合せ：5/21(火)～6/7(金)

公開プレゼンテーション：6/29(土)予定

結果発表：8/30(金)予定

お気軽に  
お問い合わせ  
ください。

### 大和市民活動センター利用登録団体の更新手続きをお願いします

大和市民活動センターに登録して活動している団体で、引き続き2019年度も登録して活動する団体は、同封の「2019年度大和市民活動センター利用登録更新申請書」を提出してください。

2018年度の活動報告も併せてお願いいたします。



あの手この手で  
問題解決しよう!

## かながわコミュニティカレッジ ～つながり 支え合うまちづくりを目指して～ 登録団体が『地域支え合い講座』で実践発表 その2

### 2/8(金)「ハウスマンテ大和」の発表者 沢田 耕太郎さん

高齢者や社会的弱者を含む市民の要望に応じて、安心安全な生活に必要な知識の普及や小修繕を支援・実施する活動をしています。

高齢になり家のメンテナンスが昔は出来たが、体が動かなくなって出来ない人が周りに増えてきた現実。

それを踏まえて、家庭内でも首都直下型地震に対する備えをしておかないと、命の危険にさらされることを理解して頂くため、家具転倒防止やガラス飛散防止フィルム貼り講習などを実施しています。

平成26年度と28年度には、市民活動推進補助金を受けて、家具の転倒防止を実施(60世帯)しました。必要な知識をまずは動ける人に知ってもらおうと講習会を3回ほど実施。その中で自分の家の修繕が出来て他の家の修繕をしてみたいけど、知識が足りなくて出来ないという方のためにスキル向上のため研修会を開き、その結果メンバーを増やすことに成功しました。

#### 参加者からの質問に答えた内容を紹介します。

- (Q) 自分たちが活動している事を周囲に知ってもらう方法は?
- (A) 一つは口コミ、もう一つは自治会の役員をしていたので、回覧板を回して希望がある方は言ってくださいと、お願いしました。後はゆめクラブで活動の紹介してもらいました。
- (Q) 周りの反応はありましたか?
- (A) 反応はあまりなく、災害防止に関してはほとんど関心が無いのが現状です。
- (Q) 障子や網戸の張替えなどが出来ませんが、ハウスマンテ大和のメンバーになる事が可能ですか?
- (A) 周りにスキルを持っている人がいましたら声を掛けてください。いつでもメンバーになる事が可能です。一緒に活動をしましょう。(吉浜 学)

### 2/15(金)「がくいきの会」の発表者 芝原 重喜さん

「がくいきの会」は市内西鶴間の南鶴間自治会の中で生まれた地域づくりの団体です。

「地域の方々が集い、懇親できる場が欲しい」という声が上がったことから地域の方々の意見、要望を地域の中で形にするために全国のまちづくりの事例や他の自治体の居場所作りの様子を丁寧に調査、視察という準備期間を経たのちに企画されました。

活動は①ふれあいサロン「南鶴間茶 OH!」、②ウォーキングを楽しむ「遊歩の会」、③認知症カフェの「オレンジカフェ」とバラエティに富んでいます。

それぞれの活動の様子が写真で紹介されたことによって、より参加者に向けて具体性を持たせる活動紹介になりました。懇親の場を地域で続けていくには活動の担い手が必要不可欠なことから、人材発掘に力を入れ、そのことがまた新たな出会いを生み地域の知り合いが増える展開となっています。まさに、つながり支え合う地域づくりを目指して生き生きと活動している様子が語られました。

大和市民活動センターに登録の3団体の実践発表はどちらも地域に根差しており、丁寧なリサーチがなされ要望に応える為に惜しみない努力がされています。

安全で安心出来る豊かな生活の為に自ら立ち上がり仲間を増やしていく。こうして住民力を上げていくことは未来を確かなものにすることに繋がると実践発表を聞き実感しました。(辺見 弥生)

かながわコミュニティカレッジの今回の企画は、地域包括ケアを進めるとこの市でも求められる基本の内容であった。3回のグループワークで地域分析、課題の洗い出し、解決に向けての取り組みを話し合った。「もっとワークの時間が欲しかった」の言葉通り、終了後の集まりの日程調整をするグループもあり、講座の成果を感じた。(関根 孝子)



大和市民活動センターの業務の一環として 約50の“市民活動ブース”(部室)と会議室など、市民活動団体が活動される場所を設けて管理運営をしています。全部室に携帯消火器と、事務室には質量5Kgの消火器が配備され、充填記録も明記されていました。これら多くの施設面で、日頃私たちが災難から守ってくれている人たちがいるのだなと再認識しました。(望月 則男)

「センター」のある日ある時

#### 2月15日(金) はれ

市民活動拠点ベテルギウス 全館をあげての「消防訓練」。  
施設管理担当(大和市子ども・青少年課)の下、役割分担に沿って手早く行われました。

大和市民活動センターもこの館に移って初めての年。誘導班に加わって避難し、速やかな報告を終えました。解散してから改めて見直したことがあります。このベテルギウスは要所に「消火栓」「火災報知器」が設置されています。中を開けると蛇腹に掛けたホースが整っていました。箇所ごとの防火シャッターが改めて頼もしく頑丈に見えます。



## 大和発の活動がユネスコ世界文化遺産に？ ～宮彫りの技術伝承～ 神奈川探龍倶楽部



江ノ島から大山まで龍を登らせたい！  
by 上田康史さん

### 活動は鎌倉のトイレマップ作りから・・・

退職後、パソコンでアプリを作りたく通った藤沢の先の、小学校以来の鎌倉を久しぶりに訪ねました。観光都市鎌倉の悩みの一つ、トイレ問題を題材とした便利なアプリをと思い、調査し、作成しました。その折、度々寺社を訪ねると、トイレばかり覗いていて気づかなかった私にとって、新しい発見がありました。

それが寺社の装飾彫り物「宮彫り」と呼ばれている彫り物です。

独自に調べてみると、あまり調査研究されていないことに気づきました。その彫り物のなかで特に興味を抱いたのが「龍」の彫り物でした。調査研究を始めてから早5年経ちます。気が付けば、神奈川県にある約3,000の内、2,000もの寺社を訪ね歩いておりました。人知れず、仏像などの蔭に隠れていたこの芸術文化財を世に出したく、現在も続けております。私の活動に目を止めたのが神奈川県観光協会でした。インバウンド観光の新しい観光資源としての魅力を感じたようです。情報提供を行い、宮彫りの寺社を訪ねるツアーなどを開催し、徐々に認知度が上がってきております。

### 2019年の「かながわ観光大賞 特別賞」を受賞！

このたび、2019年度の「かながわ観光大賞 特別賞」をいただくことになり、私どもの活動を認めてくれた、と嬉しく思っております。

私の当面の目標は、ここ大和市を中心とした新しい観光ルートを創ることです。鎌倉から藤沢を通り、境川、引地川に沿って綾瀬、大和、座間、海老名、厚木を經由し伊勢原の大山まで続く「龍の（宮彫りの）道」を作ることです。「神奈川のドラゴンロード」と銘打ち、周知活動を続けていく所存です。（上田康史）

\*2020年度のユネスコ世界文化遺産に推薦され、登録のうれしいお知らせを待っているところです。



### 第18回 AA横浜地区の集い

#### 「アルコール依存症 本人による 回復の体験談」

日 時：3月17日（日）10:00～15:45  
場 所：横浜市健康福祉総合センター4階ホール  
対象者：関心のある方、ご本人、ご家族、関係者、どなたでも  
申込み：不要 直接ご来場ください。（途中入場、退室自由）  
参加費：無料  
内 容：AAメンバー14名による回復の体験談  
テーマ「生きるための新しい道へ」  
（一人15分づつ自らの飲酒やAAでの経験を話します）

#### 「依存症に取り組む医師の講演」 14:00～14:30

講 師：玉澤 彰英氏  
医療法人誠心会 神奈川病院院長  
主 催：AA神奈川地区の集い実行委員会

#### \*AA(アルコールホーリクス・アノニマス)とは

アルコール依存症の当事者による世界的規模の自助グループです。横浜では20以上のグループが回復のためのミーティングを開催しています。多くの医療機関、保健福祉機関等で社会資源としてのAAをご案内いただいています。  
アルコール依存症は回復することができる病気です。

### 平成30年度まなびの輪交流事業

#### 体験の風をおこそう！やまとドリームチャレンジプロジェクト

#### ～トップアスリートと一緒にスポーツしよう！～

日 時：3月17日（日）12:00～14:30  
対 象：小・中学生（100名）室内シューズ持参  
参加費：無料

\*雨天決行

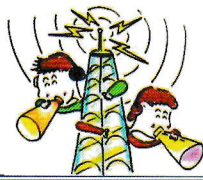
問い合わせ：info@yamatosports.com  
主催：NPO法人やまとスポーツマネージメント  
後援：大和市教育委員会  
支援：大和市民交流拠点ポラリス  
協力：株式会社 allfuz(allspo) 株式会社ジューワー

#### ★出演アスリート

- ・田村 友恵（アルティメット選手）
- ・KOUHEI（ダンサー）
- ・新名 亮介（ハンドボール選手）
- ・東 英樹（バスケットボール）

#### \*やまとドリームプロジェクトとは？

スポーツアスリートたちの戦う姿は、私たちに人間の持つ無限の可能性を感じさせ、たくさんの発見や感動を与えてくれます。各スポーツのトップアスリートたちをゲストに迎え、体験教室とトークショーを開催。次世代を担う子どもたち、そして幅広い年齢層の方々に「夢に向かってチャレンジすることの素晴らしさ」を伝えます。



<出演しました> 録音CDが大和市民活動センターにあります。

第339回 2/5(火) 「NPO 法人ワーカーズ・コレクティブ  
チャイルドケア」

設立のきっかけは地域に子育て支援の活動がなく、自らの子育ての経験からその必要性を感じて立ち上げました。活動内容は①子育てサポート②ファミリーサポート(大和市委託事業)③養育支援訪問④集いの広場事業(中央林間、高座渋谷)の4つの部門に分かれています。個人、家庭の状況は一人ひとり違うため、求める支援も様々なところをケースバイケースで対応、そして子育て中の悩みにSOSを出す人を最優先にしているそうです。「悩みを打ち明け、登録しただけでホッとした」という声が数多く聞かれています。「私たちが上手く使って欲しい」と語る理事長の永井さんには「お父さん、お母さんたちに寄り添いたい」という思いが根源にあるとのこと。活動が19年目に入った今年は更に子育て支援を充実させる為に、新たな取り組みに向け準備していきたいと抱負を語りました。近々の催しとしては、3月に洋服やおもちゃを欲しい方と差し上げたい方のイベント「とりかエゴ」を開催する予定(現在計画中)です。

第340回 2/19(火) 「NPO 法人エバーブルー・ジャパン」

発足は2009年、学生時代にダイビングと出会い卒業後にダイビングインストラクターの資格取得した尾崎さんが1人で立ち上げ、海のスポーツ指導をしていく中で様々な問題に気づき2012年にNPO法人化、現在4名の理事と10名の役員、62名の会員で構成されています。主な活動はスノーケリングやダイビング等、海のスポーツに関する指導、普及、啓発活動、安全指導と海の環境保全活動。スクーバダイビングなど海のスポーツを楽しむ為にはまずは海を知ること、そして安全に楽しむ為にどんな知識と技術が必要なのかを講習会で教えています。団体の理念は「未来の子供たちに美しい海、美しい地球を残していきたい、そして伝えていきたい」とのこと。環境保護の為にビーチクリーンや水中のゴミ拾い、サンゴの移植や植え付け活動に取り組んでいます。海を愛し大自然を大切にしている気持ちが伝わってきました。

<3月の出演団体> 77.7MHz 9:00 お忘れなく! (再放送は当日の15:00と21:00です)

3/5(火)「NPO 法人 ペイン・ヘルスケア・ネットワーク」

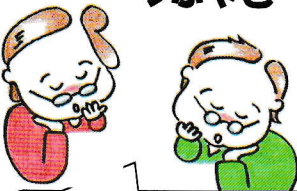
世界各国や我が国で問題となっている、慢性的な痛み(慢性疼痛・神経障害性疼痛)を遮断するための運動指導、啓蒙活動や事業を行う団体です。

3/19(火)「ジュニアリーダーズクラブ サークルありんこ」

大和市の子ども会での季節ごとの行事や成人式の受け付け補助など幅広く行います。会員で年に約4回集まり、担当が自由に楽しい部活動を企画する団体です。

★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた ★やまとっこ☆みつた

スタッフの  
つぶやき



うれしい春到来。やっかいな花粉までやってきた。



拠点やまと会長  
望月 則男

犯人捜査のモニター・ジュ担当の警察官に自分を描いてもらった。“絵とは全く関係ない”元エンジニアだそうです。あまりにも似過ぎて受け取るのを躊躇するぐらい♪「何だか結婚詐欺犯のタイプですね…お葬式用に詳細に描きましようか?」



市民活動相談担当  
関根 孝子

この2月、日数が少ないのに3週間も風邪をひいていた。昔から二八は暇な月と言われているが、私にとっては一番忙しい月。あと1日でどこまで出来るの?録画は観るな!「つぶやき」だけは先に送っておこう!



ボランティア担当  
櫻井 貞代

柏木学園高校短歌書道部の遠藤君と矢崎君が卒業します。2人は高校3年間積極的にボランティアに参加し、お年寄りに寄り添ってくれました。これからそれぞれの場所でいろいろな体験を通して大きく成長してほしいと思います。



ニューズレター担当  
櫻井 美紀子

庭木が大きくなり、手に負えなくなってきた。ハナミズキは水気の多い樹木で、剪定は2月前後がベストと聞く。よく切れるのこぎりを購入し、切りつめた。切ったのはよいが…枝の片づけが…、誰もやらず1日延ばしとなっている。



FM やまと担当  
辺見 弥生

FMやまとの担当になってもうすぐ1年に。スタジオの片隅でメモを取りながら思わず話に聞き入ってしまった。感情を揺さぶられたり、とても豊かな時間です。この時間を一緒に下さる団体の方、いらっしやいましたらぜひお声をかけて下さい。



HP 担当  
吉浜 学

橋の手前に看板が立ててあり内容を読むと「サイレンが聞こえてから1分40秒で土石流が到達します」と書いてありました。友人と2人で「いやいや重い荷物背負って逃げられないでしょ」と笑いながら話していましたが・・・つづく



「あの手この手」担当  
石川 美恵子

日本風景写真協会神奈川支部「彩時記」の写真展の会場に入った途端、4Kの大画面かと思われる作品が目飛び込んできた。それぞれ撮影者の息遣いまでが伝わってくる。光の瞬間、霧の流れ、どれほどの時間待ったのだろうか。

大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。

「あの手 この手」 第140号 発行日: 2019年3月10日

発行: 大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>

TEL: 046-260-2586 FAX: 046-205-5788

<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>

e-mail: yamato@ar.wakwak.com

〒242-0018 大和市深見西1-2-17

http://www.kyodounokyoten.com/